

乳幼児を連れた人々の交通行動とその支援に関する研究

～幼稚園の保護者を対象として～

福岡大学工学部社会デザイン工学科 辰巳 浩, 堤 香代子, 岡 泰佑, 田中 克明

1. はじめに

近年、わが国では少子化が深刻化し社会問題となっている。その打開策の一つとして、子育て環境の向上が求められており、様々な分野で子育て支援がなされている。交通分野においては、「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)」が2006年に施行され、高齢者や身体障がい者に対する支援は進んでいる。しかし、バリアフリーに関する法律では高齢者や障がい者が対象であり、乳幼児連れは非対象であることから分かるように、乳幼児連れへの支援は乏しい状況といえる。

そこで本研究は、乳幼児連れの人々が交通行動を行う上での課題点を把握し、その改善案を見つけ分析した。なお、地方都市では自動車の利用が多いことから、特に「自動車交通」に着目し、下記の4項目を明確にする。

◇研究の目的

- (1)乳幼児連れの人々の交通手段の把握
- (2)乳幼児連れが移動を行う上での課題点
- (3)乳幼児連れの交通手段を自動車に限定した場合の問題点
- (4)自動車を利用する乳幼児連れの人々がより行動しやすいまちづくりの提案

バリアフリーに関する法律

年 月 日	法律
1994年	
6月29日	ハートビル法 公布
2000年	
5月17日	交通バリアフリー法 公布
11月15日	交通バリアフリー法 施策
12月22日	ハートビル法 最終改正
2003年	
4月1日	ハートビル法 施策
2006年	
6月21日	バリアフリー新法 公布
12月20日	バリアフリー新法 施策
12月20日	ハートビル法 廃止
12月20日	交通バリアフリー法 廃止

2. 調査の概要

乳幼児連れの方の交通行動を調査するために、外出先別の交通状況についてアンケートを行なう。また、今回は主に自家用車を運転(同乗)する際の状況をスーパーへ行く場合と、公園へ行く場合に限定してアンケート項目を提案する。

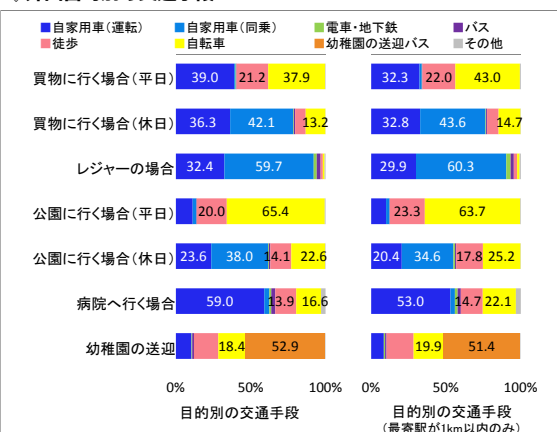
福岡市内の16箇所の幼稚園(中央区7箇所、城南区4箇所、早良区5箇所)の御協力で、保護者にアンケート票を配布してもらい、後日回収を行った。配布・回収時期は2011年10月～11月である。配布部数2,394部に対し、1,222部の回収があり、回収率は51%である。

アンケート調査項目

個人属性	①性別 ②年齢 ③就業 ④住所 ⑤子供の人数 ⑥最寄り駅の有無 ⑦食材の宅配利用状況 ⑧自家用車の有無および利用頻度
外出目的別の交通状況	買い物に行く場合(平日・休日): ①利用スーパー名 ②スーパーまでの距離 ③交通手段 レジャーの場合: ④外出頻度 ⑤交通手段 公園へ行く場合(平日・休日): ①よく利用する公園 ②交通手段 病院行く場合: ①交通手段 幼稚園の送迎の場合: ①幼稚園までの距離 ②交通手段
運転(同乗)する際の交通状況	◆運転中最も気をつけること スーパーへ行く際の交通状況(平日・休日) ◆駐車場の利用満足度 ◆駐車後の利用満足度 公園へ行く際の交通状況(平日・休日) ◆駐車場の利用満足度 ◆駐車後の利用満足度

3. 調査結果

◇外出目的別の交通手段



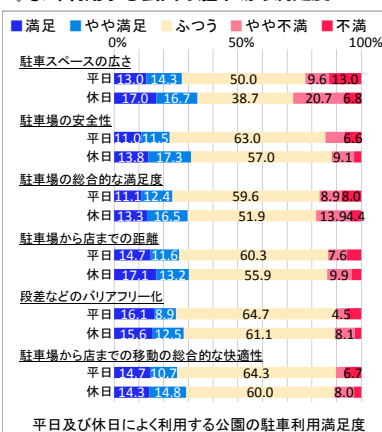
目的別交通手段では、自家用車の利用割合(運転+同乗)は、レジャーが9割、休日の買い物は8割弱、休日の公園が6割と、マイカーの利用割合が高いことがわかる。

休日は「同乗」という形の自家用車の利用が多い。

最寄り駅が1km以内にある人の目的別交通手段では、自家用車の利用割合(運転+同乗)は、レジャーが9割、休日の買い物は7割強、休日の公園が5割強と、マイカーの利用割合が高い結果となった。全体を対象としたものと比較しても交通手段の割合に大きな差は見られない。

最寄り駅が自宅近くにあっても自家用車を利用する傾向が強く、公共交通を利用する人は少ない。

◇よく利用する公園の駐車場の満足度



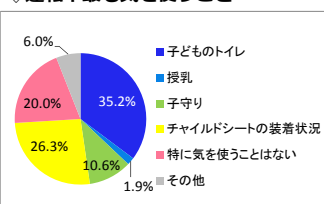
平日に公園を利用する人よりも、休日に公園を利用する人の方が全体的に満足度が高い結果となった。

休日になると駐車場が整備された郊外の大規模な公園に行く人が多いためと考えられる。

平日・休日ともに不満度に大きな差は見られないが、駐車スペースの広さに関しては、休日の不満度が高い結果となった。

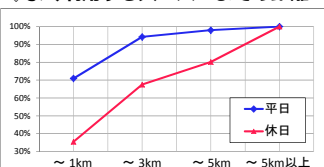
休日の公園利用者が多いことが原因と考えられる。

◇運転中最も気を使うこと



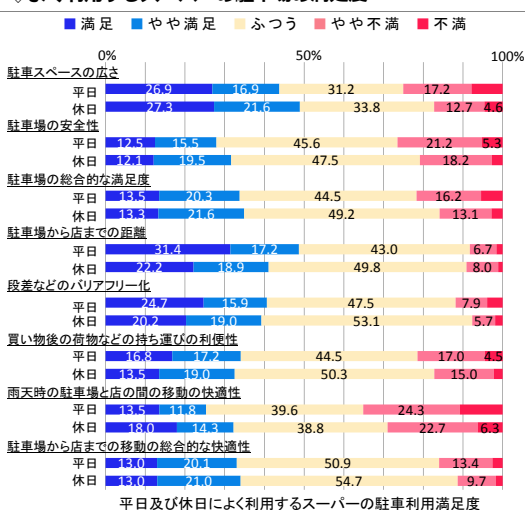
運転をする際に最も気を使うことについては、「子どものトイレ」が最も多く35%、次いで「チャイルドシートの装着状況」が26%である。

◇よく利用するスーパーまでの距離



- 平日にスーパーを利用する場合、近場のスーパーで買い物を済ませる傾向にある。
- 休日にスーパーを利用する場合、遠出して買い物を行う。

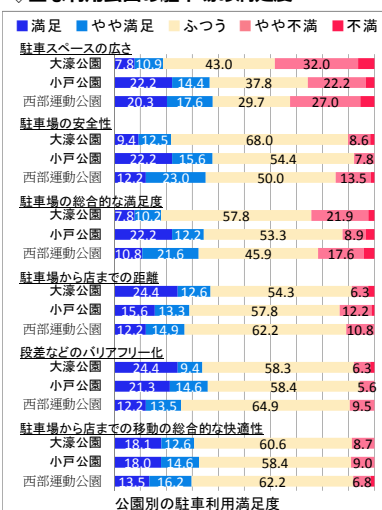
◇よく利用するスーパーの駐車場の満足度



平日・休日ともに「雨天時の駐車場と店の間の移動の快適性」について不満度が高い。また、休日利用者は平日利用者とは異なり、大半の項目で満足度の高い結果となった。

休日はより遠くのスーパーを利用していることから、満足度の高いスーパーを選んでいると考えられる。

◇主な利用公園の駐車場の満足度



大濠公園は、「駐車スペースの広さ」について満足度が低い。「駐車場から公園までのバリアフリー化」では、小戸公園の不満の割合が低く満足度が高い。西部運動公園は他の公園と比べて「駐車場の安全性」の満足度が低い。



4. まとめ

今回の分析結果より、特にスーパーの「雨天時の駐車場と店の間の移動の快適性」、公園の「駐車スペースの広さ」に関して問題があるということが明らかとなった。支援策として、まず屋根つきの駐車場や駐車場の通路の屋根の整備を行う。次に、店舗又は施設入り口付近に身体障がい者用駐車場と同様に乳幼児連れ優先駐車場を設けるなどの対策が必要と考えられる。更に現在、身体障がい者用駐車場は対象とする人が高齢者、障がい者、けが人、妊婦となっているが、ここに「乳幼児連れ」を追加するなどの対策を提案したい。

今後の課題として、保育園利用者と幼稚園利用者での比較、すなわち仕事をしている人と仕事をしていない人(主婦など)での比較、分析を行いたいと考える。また、昨年の研究と今回の研究により乳幼児を持つ人の分析ができたため、乳幼児を持たない人との比較も行いたいと考える。

